

日曜日には TVを消せ

SPECIAL
PROGRAM

ミニミニプレゼント。カンパ。レターを送って来たみなさん。どうもありがとうございます。前の下宿宛のものもみんな受け取っています。

★75.4.13(日)
★制作★PHC-TV
★提供★混血桃色通信=PHC

豊橋市植田町清水山3の5
清水荘 (〒440)
藤田真男=MAO=

▶3月末に、ぼくも札幌のYOTAも、そろそろ引越しました。豊橋局は、上記の住所へ移転。今後の連絡は、こちらの方へ。TEL.(0532)25-1659(呼出)です。
▶今度引越して来た下宿は、豊橋駅から単線の電車にゴトゴトゆられて30分ぐらいかかる田舎。下宿の西と東に大きな池があり、凡が渡って来ます。ア

▶荷物を運んだ後、しばらく帰省していたので、部屋の中はまだゴチャゴチャのまま、どこに何があるのかという状態です。く4+1のつづきは、落ち着いたら作るつもり。YOTAは、4月から、ガッコーのセンターになりました。No.5<座頭市特集>を作るヒマがあるかな?ま、みんな、がんばるべし。

▶PHCの映画部内く陽はまた池あ>の発行は、すでに半年の遅れ。半年前、く夢の島少女>をみて以来というもの、映画なんか頭になかった。他のことを考える余裕もなかった。といいつつ、YOTAのくアイちゃんが行く>に便乗して、ミーハー雑誌なんぞ作ったりしていると、信用を落しかねないのですが...「MAO、本気?」と、ルーシー女史が呆れているようで...

M半分は
作り話と思って下さい
おヒマなら
真実をみつけて下さい
(ちあき・なおみ
「弾き語り」)

▶ぼくは、TVセットを持ってなくて、前の下宿では同居人のTVをみせてもらってました。で、いまは、やることなく、ポケーとしてる。この一年ほどちょっとTVを熱心にみすぎて最近、中毒みたいになってた。先日、NHKの「放送とあなた」という特番をみてたら、自分のみたTVを、すべて、何百冊ものノートに克明にメモしているというオバアサンが出て来て、ちょっと、ゾッとしてしまった。

▶牧村利光氏からのお便り
「TVとインスタント・ラーメンからは、ぬけ出せないし、ぬけ出したくもない」—けだしメイ言というべきか。この感じわかるんだよなァ。ほんと、TVとラーメンとは、なぜか、切っても切れないのだ。貧しいといえど、貧しいけど、この二つからぬけ出せば豊かになるとは思えないし、その逆でもないよな気がするし、ようするに、ぼくは何を云いたいのだろか?日本人が消費する(?)即席ラーメンは、年間40億食!

M.G. MAO MEMO

別に書くこともない(ことはないけど)ので、また、個別に手紙を書くのがシンドイので、その代りに、ぼくの近況など、かんたんに記しておきます。手紙をもらうのは嬉しいので、ヒマな人は、手紙をちょうだい。

—3月25日(火)—
NHKラジオ「都会のニつの顔」10年ぶりの再放送を聴く。みんなが、どう受けとめ、感じ取ったか、いささか気がかり。感想を寄せて下さい。

—3月26日(水)—
民放FMで、安田南のヴォーカルを聴く。「赤とんぼ」~「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」を、なんとメドレーで唄う。あまりにもうまくつながるので、思わず吹き出しました。

—3月27日(木)—
帰省。途中、名古屋で「ザッツ・エンタテインメント」の前売りをかう。四日市の書店で、YOTAから教えてもらった、小島信夫「抱擁家族」をかう。

—3月28日(金)—
引越しに必要な金だけもらって、豊橋ハトンボ返り。四日市

でのユーミンのコンサートは、おきらめた。夜、下宿へ戻って荷造りしながら、NHK・FM「ほんとにさようなら」というドラマを聴く。昨年、芸術祭で受賞した「女優志願」と同じくリリィのLP「ダルシマ」の中の曲をテーマに使う。演出は二作とも、NHK中部の角岡正美。

—3月30日(日)—
Nテレ「宇宙戦艦ヤマト」最終回をみる。感動。日本のTVアニメ史、SF史に残る大傑作。「ルパン三世」の、よみうりTV制作。スタッフは一流。監督は、かの松本零士さん。

—3月31(月)—
ギリギリまで荷造り。荷をクルマへつみ終ったところへ、パラパラと雨。運が終える頃、本格的に降り始め、危うくセーフ。

—4月1~8日(火)—
帰省。何もしないで、本を読みレコードをかけTVをみすぎす。下宿では、いつもメタメタな生活してるので、マジメに本を読めず、帰省中には、なるべく読書に専念。

意味がつくようなことをいうつもりはない。それなのに口をひらくと何をいってもしら

なってしまう。
(小島信夫「抱擁家族」)

「あんた家へ帰らなくてもいいのかい?」
「いいのよ。世界が変わったんだから」
(河野典生「緑の時代」)

「感じれば、自然に言葉はあるもんだ」
(小川国夫「海の声」)

—4月9日(水)—
豊橋へ戻る。途中、名古屋のシネマ劇場で「ザッツ〜」をみる。エリノア・パウエル+アステア、ジーン・ケリー+アステアのタップ・ダンスは、完全に見届けるには、目玉が八つぐらい必要。パンフ、ポスター、交通費を含めて、この映画1本に2500円もかかった。シナロ!しかし、シネマってすごいね。

—4月10日(木)—
豊橋で「ザルドス」「ヘルハウス」をみる。二日づけて映画みるなんて、何年ぶりか。「ザルドス」の応法使いのメーキャップは、内容から考えても、明らかに、エジプトのスフィンクス像だろう。面白かった。